

石川武美略年譜

- 明治
- 20・10・13 宇佐郡津房村で誕生。父又造 35 才、母わさ 30 才の三男
 - 27・4 津房小学校に入学
 - 35・4 旧制宇佐中学校に入学
 - 36・9 中学二年で中途退学し、単身上京
尾立維孝(津房村出身)夫人富子の知遇を受ける
 - 36・10 神田神保町の同文館書店に入り、店の売り上げを東京一にする
- 大正
- 3・5・18 長谷川かつと結婚。武美 26 才、かつ 21 才
 - 4・2・16 長女恵美子誕生
 - 5・9・18 主婦之友社を創業、「東京家政研究会」の表札で事業を始める
 - 5・11・17 次女富美子誕生
 - 6・2・14 「主婦之友」創刊、三月号発売される。29 才
 - 8・8・10 長男勝郎が生まれるが、7ヶ月で亡くなる
 - 10・5・20 東京家政研究会の社名を主婦之友社と改める
 - 12・12・15 徳富蘇峰を助け、国民新聞社副社長となる
 - 13・11・1 主婦之友社を株式会社にし、取締役社長となる。37 才
 - 15・2・1 「主婦之友」に編輯日誌の連載を始める
- 昭和
- 6・1・19 母わさ(72 才)が安心院にて永眠
 - 8・1・2 九州へ父を見舞い、長谷川栄作の寿像を贈る
 - 10・2・20 長女恵美子、井上数雄と結婚。数雄は宇佐市高家の生まれで医学者
 - 12・5・1 三鷹に八町歩もの土地を買って三鷹農園を作る
 - 14・1・24 父又造(87 才)が安心院にて永眠
 - 14・12・7 井上数雄・恵美子夫妻と養子縁組み、井上一家は石川と改称する
 - 16・9・10 財団法人文化事業報国会(現石川文化事業財団)の設立
 - 16・11・23 清水農園の山荘ができる
 - 18・6・4 日本出版配給株式会社社長となる
 - 20・6・4 日本出版会会長となる
 - 21・5・15 主婦之友社取締役社長を辞める。石川数雄が後任社長となる
 - 21・10・18 妻かつとともに清水山荘に移る。清水農園での百姓生活始まる
 - 22・11・28 宿願の「お茶の水図書館」が開館する。石川数雄が図書館長となる
 - 25・11・28 東販の社長となる
 - 26・7・24 東販で第一回石川賞授賞式
 - 28・12 「主婦之友」を「主婦の友」に改める
 - 30・5・2 財団法人日本出版クラブから朝倉文夫作の胸像を贈られる。67 才
 - 32・10・11 第一回印刷文化賞を受ける
 - 33・2・19 菊池寛賞を受ける。70 才
 - 35・10・1 東京都から社会教育功労者として表彰される
 - 36・1・5 18 時 10 分、心臓病の急変で永眠。享年 73 才

石川武美と「主婦之友」展

ごあいさつ

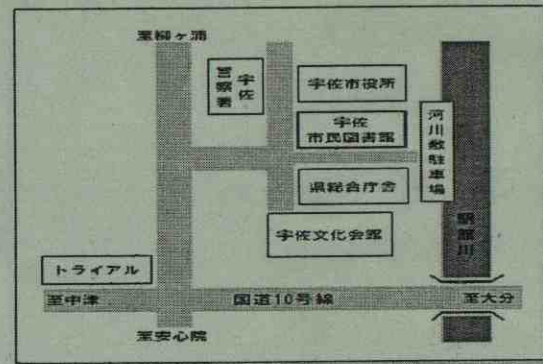
雑誌「主婦之友」を知らない人はいないでしょう。大正時代から現在まで90年も続いているこの雑誌をつくったのが、郷土の先達「石川武美(いしかわたけよし)」です。安心院町の出身で明治20年生まれ、16歳の時青雲の志に燃え旧制宇佐中学校を中退し上京、書店(出版社)に住み込んで修行を積み、ついに大正6年「主婦之友」を創刊、武美29歳の時でした。

日本の家庭と婦人の幸福と向上のために尽くしてきた武美は、雑誌発行だけにとどまらず、女性専用の図書館「お茶の水図書館」を私費を投じて開設するなど、無私で理想を追求する人生でした。

今年は武美生誕120年の記念すべき年にあたることから、その偉業を称え広く顕彰し、郷土宇佐の誇りとして永遠に皆様の心にとどめていただきたく、この展示を開催いたしました。展示では、武美と徳富蘇峰、横光利一、麻生豊、双葉山らとの交友や同じく宇佐市出身の後継者石川数雄(旧姓井上)の紹介など、武美の豊かで多彩な生涯を振り返ります。どうぞゆっくりとご鑑賞ください。

平成19(2007)年12月15日

宇佐市民図書館
渡網記念ギャラリー



平成19(2007)年12月15日/発行・宇佐市民図書館
大分県宇佐市大字上田1017-1 TEL 0978-33-4600

郷土の先人 生誕120年記念

石川武美と 「主婦之友」展



石川欣一氏提供

2007年 2008年
12.15(土)~3.2(日)

10:00~18:00(日曜のみ~17:00)

休館日=毎週月曜日・月末木曜日

宇佐市民図書館
渡網記念ギャラリー

石川武美と「主婦之友」展

展示目録

石川武美略年譜

【石川武美年譜】(うち写真16点)

宇佐中学校時代(中央は中島千松先生、左は殖田俊吉)
尾立維孝と富子夫人
妻かつと妹貴美
『主婦之友』創刊号 大正六年三月一日
長女恵美子(左)、次女富美子(右)
執務中は必ずネクタイをしていた(大正14年)
新社屋完成で両親が上京(昭和三年)
長女恵美子、井上数雄と結婚
初孫のとも子誕生(与謝野馨衆議院議員夫人)
毎朝の聖書を読み一日が始る
社の幹部とともに伊勢参り
(左から三人目富美子、長谷川清、かつ、武美)
静岡県清水市での百姓生活
清水山荘での生活が始る
石川数雄社長と(御茶の水図書館の開館日)
石川家の人々(井上敏雄、ゆうを迎えて)
聖書を読むお二人(後に両親の銅像)



【石川家系図】

石川武美肖像(3点)

石川武美胸像写真(朝倉文夫・作)

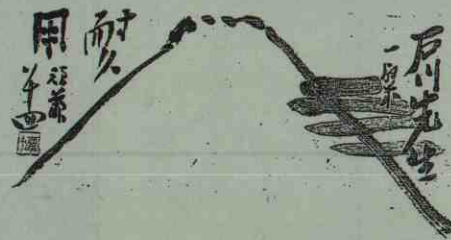
父・又造写真

父・石川又造像(長谷川栄作・作)

母・石川わさ像(長谷川栄作・作)

徳富蘇峰書画「耐久朋」(石川武美宛て)

社屋の変遷(9点)



徳富蘇峰から贈られた書画

一 いっさん
の 自 作 の 詩 文 等
を 人 に 贈 る と き
の 謙 辞
を 交 友 の 道 を 保 つ
て 終 始 そ の 心
を 変 え ない 友
耐 久 朋
たいきゆうほう

【石川武美著作】

- 『不運より幸運へ』(主婦之友社・1926)
- 『信念の上に立つ主婦之友社の経営』(主婦之友社・1926)
- 『わが愛する生活』(主婦之友社・1940)
- 『わが愛する家庭』(主婦之友社・1942)
- 『信仰の道』(主婦之友社・1946)
- 『人生随想—石川武美選集—』(主婦之友社・1971)
- 『石川武美全集』全6巻(石川文化事業財団・1980)

【石川武美に関する本】

- 石井満『逞しき建設 石川武美氏の信念とその事業』(教文館・1940)
- 吉田好一『ひとすじの道 主婦の友社創業者・石川武美の生涯』(主婦の友社・2001)

【主婦の友社史他】

- 『主婦の友社の五十年』(主婦の友社・1967)
- 『主婦の友社の六十年』(主婦の友社・1977)
- 『主婦の友社八十年史』(主婦の友社・1996)
- 『主婦の友社八十年図書目録』(主婦の友社・1996)
- 石川文化事業財団・お茶の水図書館編
- 『カラ—復刻『主婦之友』大正期総目次』(石川文化事業財団・2006)
- 石川数雄『旅の眼』(主婦の友社・1964)※写真集
- 石川数雄追悼集編集委員会編『追想 石川数雄』(主婦の友社・1983)

石川数雄・第二代社長肖像

石川武美と徳富蘇峰(関連資料7点)

石川武美と横光利一(「春園」関連資料5点)

石川武美と麻生豊(関連資料3点)

石川武美と双葉山(関連資料2点)

石川文化事業財団 お茶の水図書館(関連資料5点)

路傍の石文学賞 受賞作品(29点)

【雑誌「主婦之友」】(41点)

- 大正6年3月 創刊号(復刻版) 東京家政研究会発行
- 大正10年7月号 表紙・島 成園
- 大正12年8月号 表紙・岡田三郎助

大正13年9月号 表紙・長谷川 昇

「震災一年後の変わった運命物語」ほか、小説欄は徳田秋声

大正14年9月号 表紙・田辺 至

「離婚問題を解決する良法は無きか」ほか

昭和3年12月号 麻生 豊「奥さま」

昭和4年7月号 表紙・長谷川 昇

「夏のお化粧と着付の座談会」(水谷八重子)ほか

昭和5年1月号 蘇峰「我が母の生涯」ほか

昭和6年5月号 表紙・松田富喬

「子供の上手な躾け方座談会」、小説欄・武者小路実篤ほか

昭和7年1月号 「美人となる秘訣の発表会」(川崎弘子、入江たか子ほか)

昭和8年6月号 表紙・松田富喬

「若い未亡人のための身上懇談会」「栄養料理の作り方」ほか

昭和10年2月号 麻生豊(アサフ・ユタカ)「トモちゃん」と兄ちゃん」

昭和10年6月号 麻生豊「赤チャン閣下」「ユキダルマ」

昭和12年9月 横光利一「春園」

昭和13年7月号 表紙・奥澤二郎

「関西一流漫オスターの爆笑大会」(エンタツ・アチャコ)

昭和14年4月号 「双葉山と結婚する小柴澄子の純愛秘話」

昭和14年11月号「新編 路傍の石」(山本有三)

昭和16年2月号 「私の結婚」石川武美

昭和19年~22年から11点

昭和21年3月号『「主婦之友」の廃刊について』

昭和24年から11点

「主婦之友」付録から(19点)

【表紙を飾った女優たち】(パネル15枚)

合計164点



清水山荘で

本資料展を開催するにあたり、

石川欣一氏 石川スエ子氏 尾上登氏 尾上レイ子氏
佐矢弘憲氏 深見皓三氏 株式会社主婦の友社 お
茶の水図書館に、調査や資料の使用で便宜を図って
いただきました。記して感謝申し上げます。